MAH-377A　NTJ6　2005年9月1日発行

トステム株式会社 アルファテラスRA・RB型（入隅仕様）取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●入隅部以外の組立て・取付けおよび施工上のご注意・製品の取扱いについては、アルファテラス本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。

●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注　意

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

・指定の個所（特に接続部）にシーリング材を充てんしてください。

・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

・シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

・信越化学工業	シーラント72
・東芝シリコーン	トスシール380
・東レシリコーン	SE960

※製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・タッピンねじ、コーチボルトの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

・タッピンねじ、コーチボルトは柱、間柱、胴差しなどの構造材に必ず止めてください。

・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。

●部材の固定

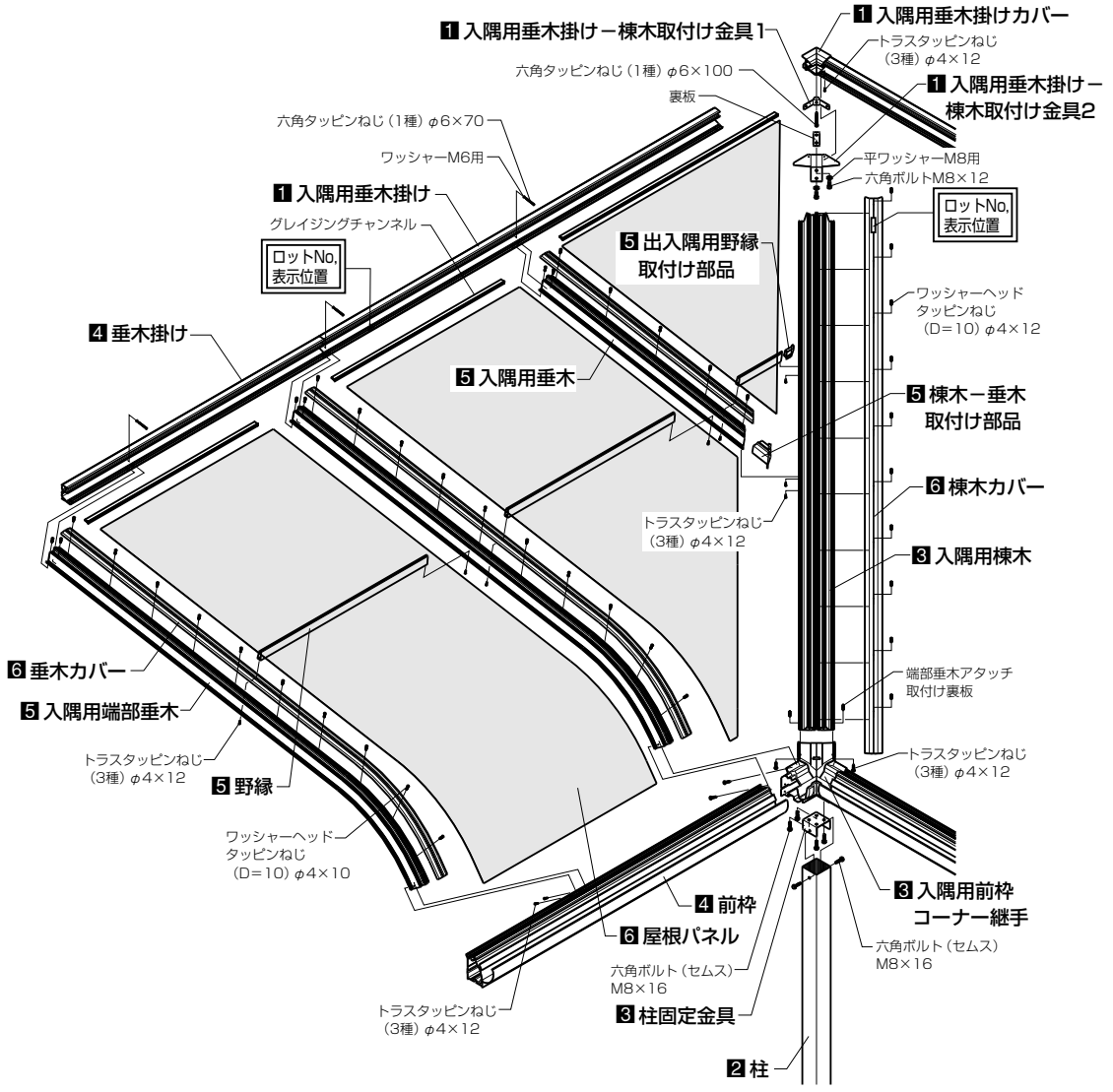
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

・垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。

■取付け上のお願い

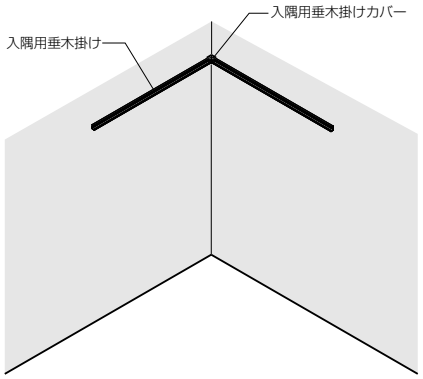
●取付けは専門業者が行ってください。

■構造説明図

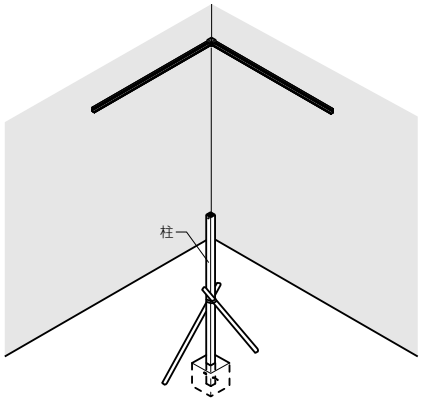


■取付け手順

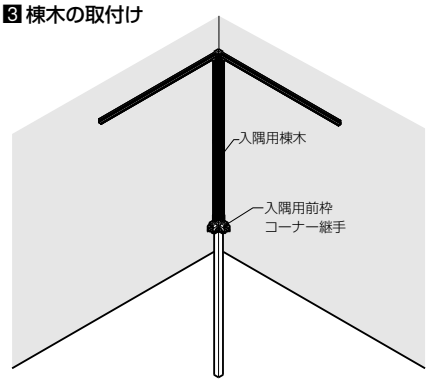
1 入隅用垂木掛けの取付け



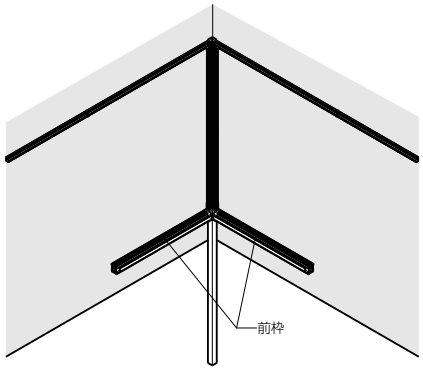
2 柱位置決め



3 棟木の取付け



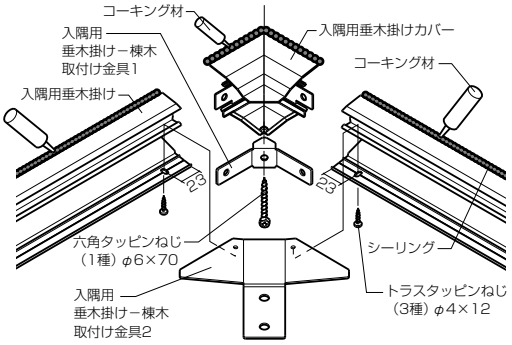
4 前枠の取付け・垂木掛けの取付け



■取付け詳細

1 入隅用垂木掛けの取付け

①位置を合わせて、垂木掛けカバー・入隅用垂木掛け－棟木取付け金具1・入隅用垂木掛けを取付けます。



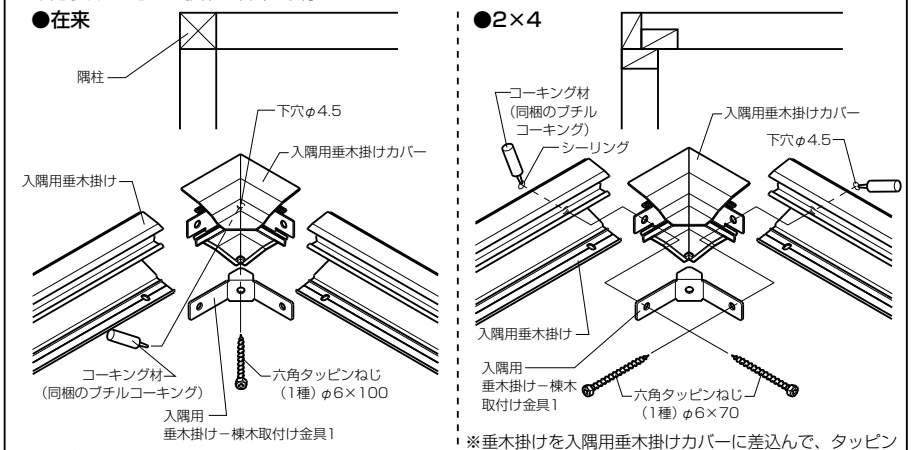
⚠注　意

- ●垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- ●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。

※入隅用の垂木掛けは左右があります。左図のように端部から23mmのところに穴がある側を、入隅コーナー部に向けて取付けてください。

②入隅用垂木掛けに、入隅用垂木掛け－棟木取付け金具2を固定してください。

※下記事項に注意して躯体へ確実に取付けてください。



※垂木掛けを隅部から近い躯体に必ず固定してください。

※垂木掛けを入隅用垂木掛けカバーに差込んで、タッピンねじで固定してください。

2 柱位置決め

●P.4の姿図より柱の位置を出し基礎穴を掘ります。

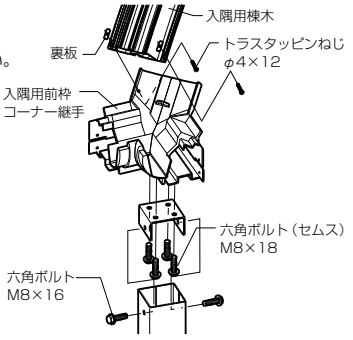
※基礎穴への柱の納まりは、アルファテラス本体を参照してください。

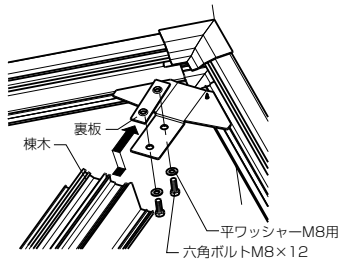
3 棟木の取付け

①入隅用前枠コーナー継手に柱固定金具を取付け、入隅部の柱上部に固定します。

②棟木のホールに裏板を挿入し、ボルトで固定します。

③前枠コーナー継手に棟木を取付けます。



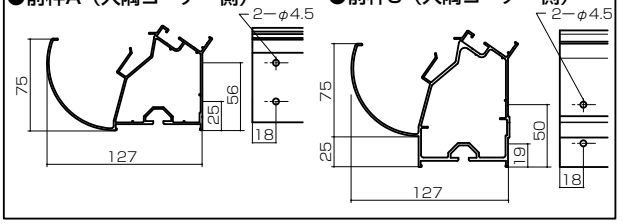


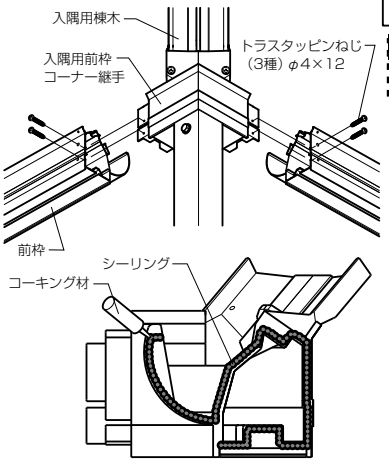
4 前枠の取付け・垂木掛けの取付け

●図のように前枠の入隅コーナー側に穴加工してください。（RA型も同様）

●入隅用前枠コーナー継手にシーリングをした後、固定します。

■前枠加工図（内観右用。左用は本図と対称）

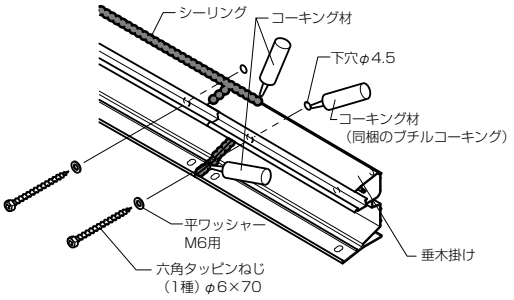




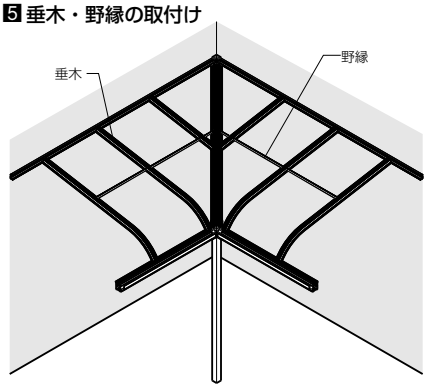
⚠注　意

- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。

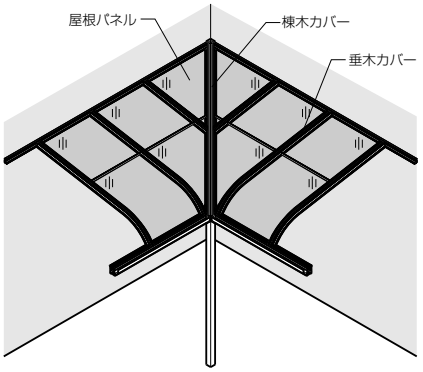
●垂木掛けの躯体取付け穴（φ6.5）を柱、間柱などの躯体構造位置に合わせてあけ直した後、取付けてください。



5 垂木・野縁の取付け

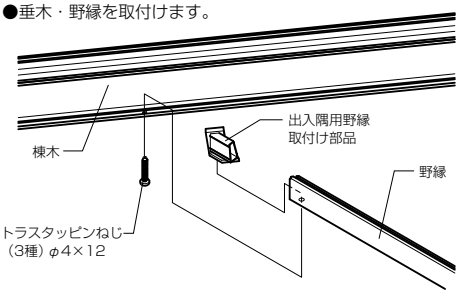


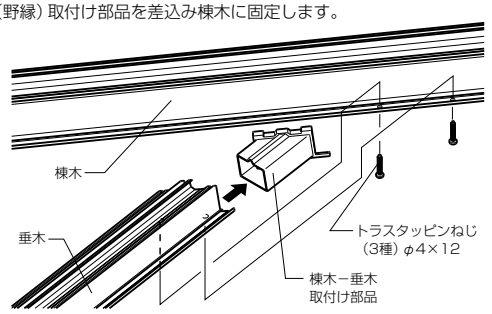
6 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け



5 垂木・野縁の取付け

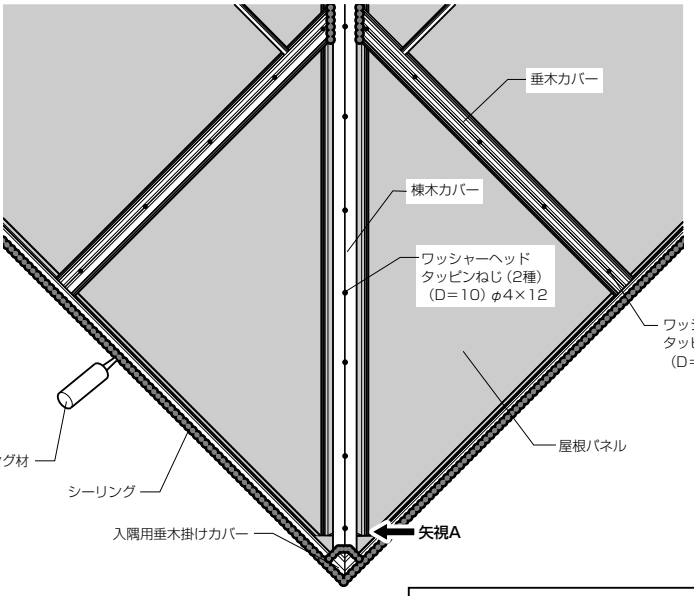
●入隅用垂木（野縁）の斜めに加工されている端部に、垂木ー棟木（野縁）取付け部品を差込み棟木に固定します。
●垂木・野縁を取付けます。





6 屋根パネル・棟木カバー・垂木カバーの取付け

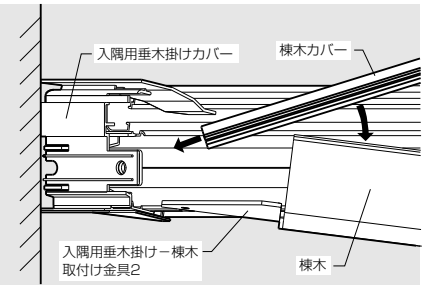
●グレチャンを屋根パネルに取付け、垂木掛けに取り付けます。
●棟木カバーを入隅用垂木掛けカバーの下にもぐり込ませて、ねじ止めした後、垂木カバーを取付けます。
※棟木カバーを止めるねじはワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）（D=10）φ4×12を、
垂木カバーを止めるねじはワッシャーヘッドタッピンねじ（1種）（D=10）φ4×10を
使ってください。



⚠ 注　意

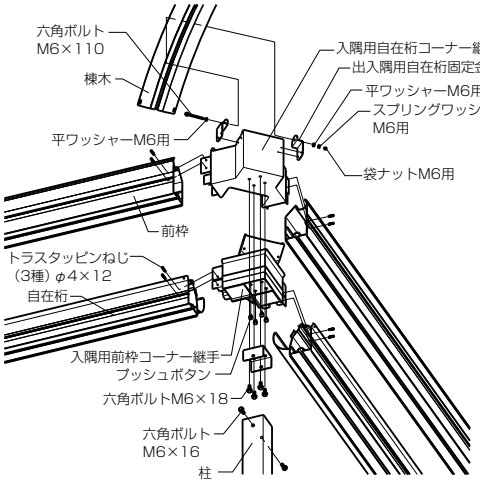
●指定の個所に必ずシーリングしてください。
●シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
・信越化学工業　シーラント72
・東芝シリコーン　トスシール380
・トーレシリコーン　SE960

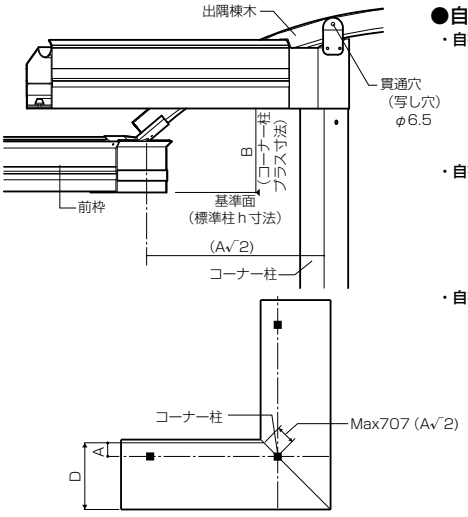
■矢視A



■自在桁仕様の場合

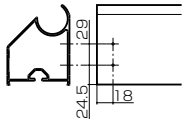
●構造説明図



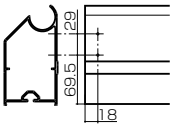


●自在桁加工図　穴加工

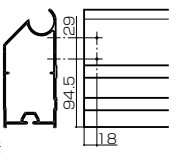
・自在桁A-1



・自在桁A-2



・自在桁A-3



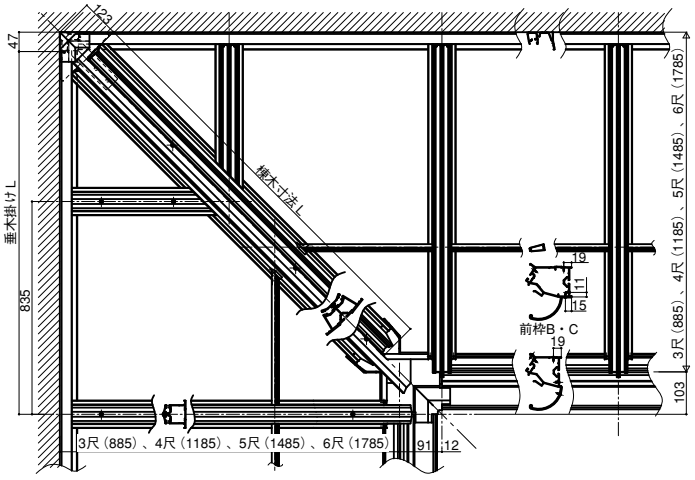
・切断寸法

ℓ=A−25
A寸法　RB型　150～500mm
　　RA型　180～500mm

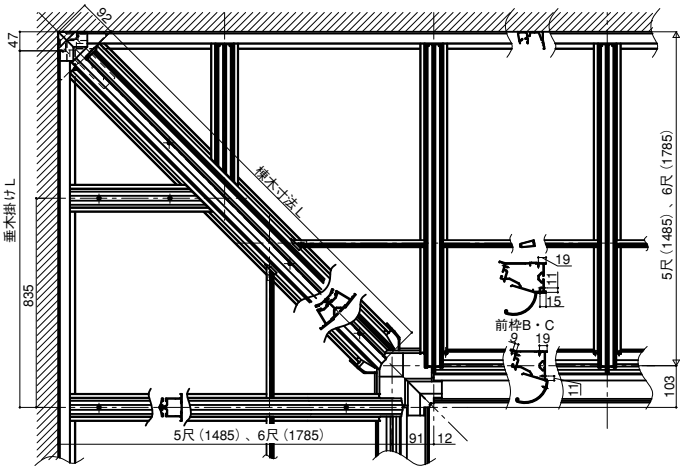
■納まり図

●基本図

●RB型

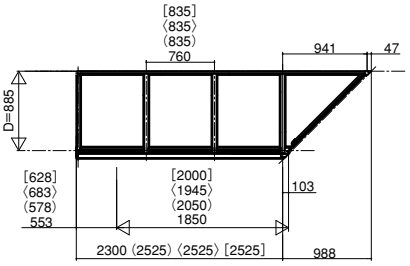


●RA型

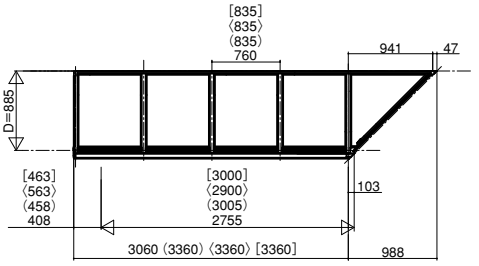


●姿図

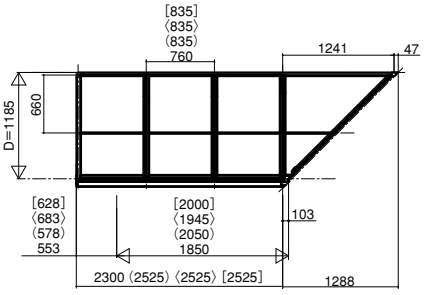
3尺＋1.0間
※RB型のみ



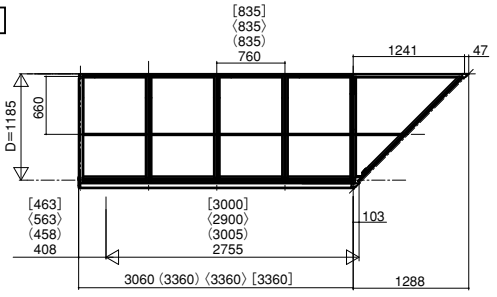
3尺＋1.5間
※RB型のみ



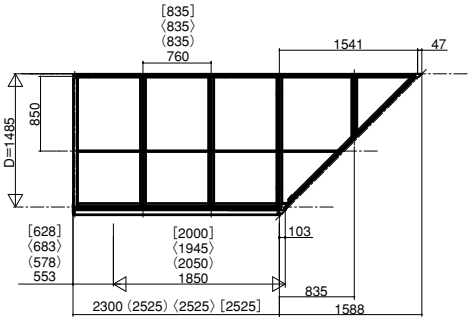
4尺＋1.0間
※RB型のみ



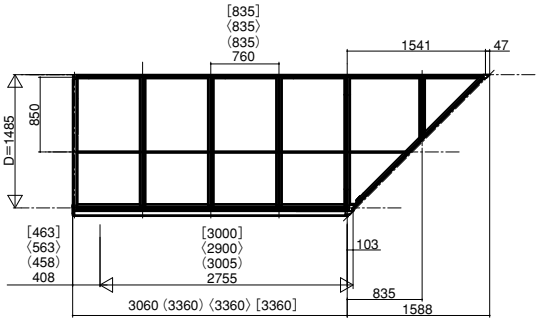
4尺＋1.5間
※RB型のみ



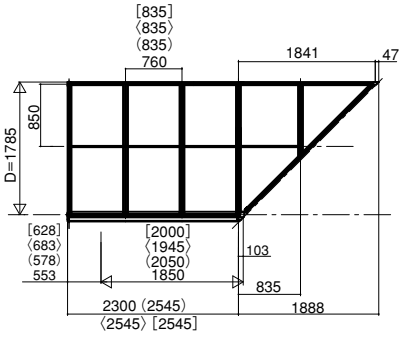
5尺＋1.0間



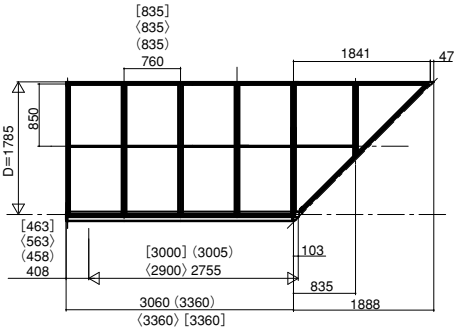
5尺＋1.5間



6尺＋1.0間



6尺＋1.5間



（　）内は関西間
〈　〉内は九州・四国間
［　］内はメーターモジュール

600タイプ